



# 放射線治療中のスキンケア

## □ 患者さんが感じる不便さには

「放射線があたったところの皮膚がヒリヒリする」

「乾燥してひび割れするような感じ」

「かゆい」

などがあります

## □ 原因

放射線は、がんを照射するとき、皮膚を通りぬけます。そのため、放射線をあてた部位の皮膚が日焼けした時のように赤くなったり、かゆくなったりすることがあります。放射線をあてた部位の皮膚を刺激せず過ごすことが症状悪化予防につながります。皮膚の変化は放射線治療の開始後数週間で始まり、ほとんどは放射線治療が終了したら数週間で落ち着きます。

## □ 生活の工夫

### ・放射線が当たっている部位の皮膚を刺激しない

こすったり、ひっかいたり、シップや絆創膏をはらないようにしましょう。

ひげ剃りは電気シェーバーを使いましょう。

ローション、クリーム、軟膏は、使う前に医師や看護師にご相談ください。

### ・放射線が当たっている部位を洗うとき

ゴシゴシこすらないようにしましょう。

石鹸をよく泡立てたものを皮膚にのせて、泡で優しく洗い、お湯やシャワーで流すようにしましょう。

タオルでやさしく押さえるように拭きましょう。

### ・肛門やその周囲に放射線を照射している場合

陰部を清潔にし、排泄後の拭き取りもこすらずに押さえるように拭きましょう。

弱圧の温水洗浄を使用したり、座浴をして、水分は柔らかいタオルなどでやさしく押さえるように拭きましょう。